

「あしたへ ジャンプ」

思考力・判断力・表現力，主体性

1 日 時 令和4年1月28日（金）5校時

2 学 級 第2学年3組（男子18名，女子18名 計36名）

3 単元設定の理由

(1) 単元観

本単元は、小学校学習指導要領解説編生活科の内容（9）「自分自身の生活や成長を振り返る活動を通して、自分のことや支えてくれた人々について考えることができ、自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどが分かるとともに、これまでの生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、これからの成長への願いをもって、意欲的に生活しようとする。」を受けて設定した単元である。

自分の成長を具体的に実感して喜びを感じ、感謝の気持ちをもつことは、夢や希望をもって前向きに生活していくために大切なことである。生活や出来事を振り返って、過去の自分と現在の自分とを比較することを通して、これまでの自分の成長や変容について理解するだけでなく、自分のよさやこれからの自分の可能性に気付くことが期待できる。また、どの児童も、多くの人とかかわり、様々な人のお世話を受けながら貴重な経験を積んできている。長期にわたる自分の変容を捉えたり、自分が知らない幼い頃のことを調べたり、周囲の人の意見や感想によって自分を見つめ直したりすることで、これまでの成長を支えてくれた人たちの存在や思いに気付かせていく。自分への自信と周囲の人々への感謝の気持ちを持ち、これからの自分の成長に期待を寄せながら、意欲的に生活していく児童の姿を目指し、本単元「あしたへジャンプ」を設定した。

(2) 児童観

本学級の児童は、1年生の3学期に「できるようになったこと発表会」を開いて1年間の成長を披露し、互いに認め合う活動を行っている。2年生になってからは、1年生に学校紹介をしたり「おもちゃランド」に招待したりして、1年生との違いや上の学年の役割を実感してきた。また、生活科の単元や学校行事が終わる度に、その学習を通してどのような力が付いたかをリフレクションシートに書くことで、自分たちの成長を実感し、自信をもつ姿が見られた。

本単元に向けての事前アンケートでは、次のような結果が得られた。

	とても・まあまあ／はい	あまり・全く／いいえ
2年間で成長したと思う。	94%	6%
自分の良いところが分かる。	92%	8%
自分の良いところを周りの人は分かってくれている。	72%	28%
自分が小さかった頃の話聞いたことがある。	52%	48%
自分の名前前の意味を知っている。	33%	67%

(2年3組 36名中)

この結果から、9割以上の児童が入学してから2年間で自分が成長したと感じている。内容は、「きれいな字が書けるようになった。」「九九ができるようになった。」等、最近できるようになったことへの気付きが多く、内面的な成長について考えている児童はいなかった。また、成長した理由として、「あきらめなかったから。」「何度も練習したから。」等の回答が多く、自分の努力や頑張りを実感していることが伺える。一方で、「年をとったら自然に成長する。」と考えている児童も数名おり、周囲の人の支えによって成長していることへの実感は少なかった。

自分の良いところが書けた児童は9割を超えるが、それを周りの人が分かってくれていると感じている児童は7割に留まっていた。また、自分のよいところとして「できること」や「得意なこと」は思い付きやすい一方、「人に優しい」や「あきらめずに頑張れる」等、内面のよさに目を向けることは経験が少なく、それに気付いている児童は3割に満たなかった。

入学前の「小さかった頃」の話や自分の名前の由来については、約半数の児童がどちらとも知らないと回答しており、児童によって経験が大きく異なることが分かった。

(3) 指導観

指導に当たっては、次の三点に留意する。

一点目は、児童の「～したい」という思いに添って、単元の方向性や活動内容を児童と一緒に決めていくことである。これまでの生活科の学習では、単元の初めに「おもちゃランドを開いて1年生を招待する」等具体的なゴールを設定し、「そのためにおもちゃを作って、遊び方を考えて…」とそこに至るステップを明確にした上で学習を進めてきた。本単元は、調べたことをまとめたり、お世話になった人に感謝の気持ちを伝えたりしたいという思いは、学習を進めながら芽生えていくものと捉え、単元の初めには「3年生に向けて」という大きなゴールだけ示すこととする。そして、小単元が終わる時点で次にしたいことを共有し、次の小単元の目標や活動を学級で考えていくようにしたい。

二点目は、ペアやグループ等、友だちとの活動を多く取り入れることである。自分の成長やよさを自分で見つめるだけでなく、友だちと互いのよさを見付けたり、互いの成長を交流して認め合ったりする活動を各小単元で取り入れていく。それを通して、友だちが自分のよいところを分かってくれていることへの実感をもたせたい。

三点目は、自分の内面的な成長やよさに気付かせるような活動の設定である。本単元では、2次の後半に保護者や1年生の頃の担任や習い事の先生等、身近な人へのインタビュー活動を行い、入学前を含めた自分の成長に気付かせていく。ここでは、「できること」、「得意なこと」に留まらず、「内面的なよさや成長」に気付きの質を高めていきたい。内面的なよさについてあまり考えたことのない2年生にとっては難しいことだと考える。そこで、インタビューの対象者には、学習のねらいを踏まえた回答をしていただくようあらかじめ依頼しておく。内面的なよさを表す言葉に触れ、そこから自分のよさを考えていくことで、中学年以降に求められる「互いの個性を大事にしたり自分の個性を発揮したりする」態度につなげていきたい。

評価に関しては、ワークシートと活動後のリフレクションシートで行う。友だちや周囲の人とのかかわりを通して、自分の成長やよさについての気付きの質が高まり、お世話になった人への感謝の気持ちを表現し、これからの生活への意欲を高めている児童の姿を見取っていく。

4 単元の目標

自分の生活や成長を振り返る活動を通して、過去と現在の自分を比べたり、支えてくれた人々との関係を見付けたりして、自分でできるようになったことや、役割が増えたことなどに気付くとともに、支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、これからの学習や生活への願いをもって意欲的に生活しようとするができるようにする。

5 単元の評価規準（小単元における評価規準）

評価規準		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の評価規準		自分の生活や成長を振り返る活動を通して、自分でできるようになったことや役割が増えたことに気付いている。	自分の生活や成長を振り返る活動を通して、過去と現在の自分を比べたり、自分の成長を支えてくれた人々との関係を見付けたりしている。	自分の生活や成長を振り返る活動を通して、自分の成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、これからの学習や生活への期待をもって意欲的に生活しようとしている。
小単元における評価規準	大きくかえろう	① 自分でできるようになったことや大きくなったことに気付いている。	① 過去と現在の自分を比較しながら、自分でできるようになったことや大きくなったことについて話している。	
	しらべよう	② 優しさや思いやり、我慢する心など、内面の成長に気付いている。	② 自分で振り返ったことや周囲の人から聞いたことをつなぎ合わせ、自分の成長について話したり書いたりしている。	② 自分のことをもっと知りたいという思いを持ち、身近な人に聞いて調べようとしている。
	まとめよう	③ 自分自身のよさや可能性に気付いている。	③ 自分の成長について気付いたことの中から、いちばんかきたいことを選び出し、作品に表している。	③ 自分の成長についてまとめたという思いを持ち、適切な方法で作品を作ろうとしている。
	つたえよう	④ 自分はたくさんの人に支えられて生活し、成長していることに気付いている。	④ 周囲の人々の存在と自分の成長を関連付け、感謝の気持ちを話している。	④ これまでの生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、3年生でも意欲的に生活しようとしている。

6 単元（小単元）のルーブリック

	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
大きくなった自分のことをふりかえろう	A	自分を支えてくれた人々の存在を知り，自分でできるようになったことや大きくなったことに気付いている。	A	過去と現在の自分を比較し，自分ができるようになったことや大きくなったことについて，自分を支えてくれた人と関連付けながら話したり書いたりしている。	A	
	B	自分でできるようになったことや大きくなったことに気付いている。	B	過去と現在の自分を比較しながら自分ができるようになったことや大きくなったことについて話したり書いたりしている。	B	
大きくなった自分のことを書きしるそう	A	様々な人のかかわりの中で，優しさや思いやり，我慢する心など，内面が成長していることに気付いている。	A	自分で振り返ったことや周囲の人から聞いたことをつなぎ合わせ，支えてくれた人と関連付けながら，自分の成長について話したり書いたりしている。	A	自分のことをもっと知りたいという思いをもち，身近な人に聞いて調べ，調べたことからさらに知りたいことを見付けている。
	B	優しさや思いやり，我慢する心など，内面が成長していることに気付いている。	B	自分で振り返ったことや周囲の人から聞いたことをつなぎ合わせ，自分の成長について話したり書いたりしている。	B	自分のことをもっと知りたいという思いをもち，身近な人に聞いて調べようとする。
自分のことをまとめよう	A	集めた情報を基に，様々な自分自身のよさや可能性に気付いている。	A	自分の成長について気付いたことの中から，いちばんかきたいことを選び出し，支えてくれた人と関連付けながら「せい長ブック」に表している。	A	自分の成長についてまとめたという思いをもち，読んでもらいたい人にとって読みやすくなるよう工夫しながら，適切な表現方法で「せい長ブック」をつくらうとしている。
	B	集めた情報を基に，自分自身のよさや可能性に気付いている。	B	自分の成長について気付いたことの中から，いちばんかきたいことを選び出し，「せい長ブック」に表している。	B	自分の成長についてまとめたという思いをもち，適切な表現方法で「せい長ブック」をつくらうとしている。

ありがとうの気持ちをつたえよう	A	自分はたくさんの人に支えられて生活し、成長していることや、その人たちの自分に対する思いに気付いている。	A	周囲の人々の存在や自分に対する思いと自分の成長を関連付け、感謝の気持ちを表現している。	A	自分のために思ってこれまでの生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、3年生でも意欲的に生活しようとしている。
	B	自分はたくさんの人に支えられて生活し、成長していることに気付いている。	B	周囲の人々の存在と自分の成長を関連付け、感謝の気持ちを表現している。	B	これまでの生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、3年生でも意欲的に生活しようとしている。

7 単元の全体計画（全22時間）

次 小単元名	学習内容	評価			
		知 ・ 技	思 判 表	主 体 的	評価規準 (評価方法)
1 大きくなった自分のことをふりかえろう	○ 写真等を手がかりに、入学してからの出来事を振り返り、共通の思い出やその時にできるようになったことを想起する。(1)	①	①		○ 入学してからできるようになったことを友だちに話している。 (発言・行動観察) ○ 過去の自分たちの姿を見ながら、その時にできるようになったことや気持ちについて考えている。 (リフレクションシート)
	○ 写真やポートフォリオ、表現作品などを見て自分の成長を振り返り、できるようになったことを「今のわたしカード」にまとめる。(2)		①		○ 以前の自分と今の自分を比較して、自分ができるようになったことについて書いている。 (イメージマップ・「今のわたしカード」)
	○ 自分の成長をグループで伝え合うことを通して、互いのできるようになったことやよさに気付いて認め合う。(1)	①			○ 友だちのできるようになったことを聞き、自分も似たようなことができるようになったことに気付いている。 (リフレクションシート)
	○ 自分のすごいところ（内面的なよさ）について考える。 ○ 友だちのすごいところや、何かしてもらった経験について話し合い、「すごいねカード」や「ありがとうカード」に書く。(1)		②		○ 自分や友だちの成長やよさを考え、カードに書いている。 (ワークシート・「すごいねカード」「ありがとうカード」)

2 大きくなった自分のことをしらべよう	○ 「すごいねカード」や「ありがとうカード」を交換し、自分で考えたことと友だちから言われたことをつなぎ合わせて、自分の成長やよさについて考える。(1)		②		○ 自分で考えたことと友だちから聞いたことをつなぎ合わせて、自分の成長やよさについて話したり書いたりしている。 (発言・ワークシート)
	○ お世話になった人や家の人などに、自分の成長について聞きたいことを考える。(1)			②	○ 自分の成長について、誰にどんなことを聞きたいかを考えている。 (ワークシート)
	(課外) お世話になった人にインタビューする。				
	○ 友だちからもらったカードやインタビューした内容を手がかりに、過去の自分と比較して、自分の内面的な成長やよさについて考える。(1)	②			○ 調べたことをもとに、自分の内面的な成長やよさに気付いている。 (ワークシート・「今のわたしカード」・リフレクションシート)
3 自分のことをまとめよう	○ これまで振り返ったり調べたりしたことの中から、どんな内容を「せい長ブック」にまとめるかを考える。(1)		③		○ 書きためたカードやワークシートの中から、自分のまとめたいことを考えて、内容を決めている。 (行動観察・ワークシート)
	○ 表現方法を工夫しながら自分の成長を「せい長ブック」にまとめる。(7)		③	③	○ 自分の成長について気付いたことの中から、いちばん書きたいことを選び出し、アルバムに表している。 (作品) ○ 自分の成長についてまとめたいという思いをもち、作品にまとめようとしている。 (行動観察)
	○ 作った「せい長ブック」を友だちと交流し、お互いの成長を認め合う。(1)	③			○ 自分や友だちのよさや可能性に気付いている。 (リフレクションシート)
4 ありがとうの気持ちをつたえよう	○ 感謝の気持ちを伝える相手や表現の方法を考え、準備する。(4)	④	④		○ 自分の成長を支えてくれた人がいることに気付いている。(行動観察) ○ 自分の成長を支えてくれた人と自分とのかかわりを考え、感謝の気持ちを表している。(作品)

	(課外) 感謝の気持ちを伝える。 ※伝えた相手から、ミニメッセージをもら う。 ※伝えたときの自分の気持ちや相手の言 葉・表情等をカードに書く。				
	○ 気持ちを伝えた時の自分の気持ちや 相手の様子を交流する。 ○ これまでの学習を振り返る。(1)			④	○ さらに成長したいという 思いをもって、生活への意欲 をもっている。 (発言・リフレクションシー ト)

<生活科 「つながるひろがる」>

3年生の生活について知り、これまでの学習や成長を3年生につなげていこうとする意欲をもつ。

<特活 学級活動(3)「もうすぐ3年生」>

3年生に向けて、もっと伸ばしたい自分のよさや頑張りたいことを具体的に考える。

8 単元において育成しようとする資質能力とのかかわり

資質・能力	目指す児童像
思考力・判断力・表現力	自分で振り返ったことと調べたことを比べたり分けたりして自分の成長について考えて作品にまとめたり、自分を支えてくれた人への感謝の気持ちを表現したりすることができる。
主体性	自分のよさや可能性、自分を支えてくれている人の存在に気付き、これからの学習や生活への願いをもって意欲的に生活しようとするすることができる。

9 本時の展開

(1) 本時の目標

互いのすてきなところを書いたカードを渡し合い、自分の考えと友だちからの意見を比べて、自分の成長やよさについて考えることができる。

(2) 準備物

掲示物、ワークシート、前時までに書いた「ありがとうカード」、「すごいねカード」
「今のわたしカード」、リフレクションシート

(3) 展開

時間	学習内容・学習活動	指導上の留意事項	【観点】評価規準 (方法)
	T：主な発問・指示 C：予想される児童の反応	○指導上の留意事項 ▲支援を要する児童への手立て	
見通しを持つ	1. 前時までの学習を想起する。 C：2年間で自分是可以なことや得意なことが増えた。 C：周りの人に教えてもらいながら、成長した自分についてもっと調べたい。 C：書いたカードを早く渡したいな。 2. 本時のめあてを確認する。	○学習の足跡や今後の見通しを掲示物で示し、本時の位置付けを明確にする。	
自分の考えをもつ	<div data-bbox="316 745 1273 808" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> カードを交かんして、自分の「すてき」をもっと見つけることができる。 </div> <div data-bbox="119 846 743 1122" style="border: 1px solid black; border-radius: 20px; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> ルーブリック (思判表②) A：(+) 前の自分と比べて考える。 B：自分と友だちからのカードをくらべて、自分のせい長やよさを話す。 </div> 3. 友だちとカードを交換する。 C：レク係の仕事を頑張っていてすごいね。おかげで、クラスのみなどで楽しく遊べるよ。 C：宮島探検でもみじ饅頭のお店を決めるとき、譲ってくれてありがとう。けんかなく過ごせたよ。 4. 自分のカードと友だちからもらったカードを比べて、感じたことや気付いたことをメモする。 T：もらったカードを比べて気付いたことを書き込みましょう。 <div data-bbox="164 1800 601 2045" style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> </div>	○交換する際に、カードに書いた内容について話したり、もらった感想を伝えたりすることで、互いの成長を喜び合えるようにする。 ○全体でメモの仕方を確認する。 <ul style="list-style-type: none"> ・カードを比べて分ける。(似ている⇔違う) (気付いていた⇔初めて気付いた) ・感想を書く。 ・新たな気づきを書く。 ▲「似ている」「初めて気付いた」などの視点で一緒にカードを分けて、メモできるようにする。	<div data-bbox="1070 846 1414 1283" style="border: 1px solid black; border-radius: 20px; padding: 10px;"> 【思・判・表】 ○自分で考えたことと友だちから聞いたことをつなぎ合わせて、自分の成長やよさについて話したり書いたりしている。 </div>

<p>考えを交流する</p> <p>振り返る</p>	<p>5. メモしたことをもとに、自分の成長やよさを友だちと交流する。(ペア→全体)</p> <p>C: 私のいいところは「がんばりや」なところ。係の仕事を頑張っているところを〇〇さんが教えてくれました。他にも九九やなわとびの練習も頑張っているの、確かになと思いました。</p> <p>C: ぼくのいいところは誰とでも仲良くできるところです。〇〇君が書いてくれてうれしかったです。前はすぐにけんかをしていただけ、最近はけんかが少なくなったので、成長したと思いました。</p> <p>6. 振り返りをする。</p> <p>T: 今日の学習で気付いたことや考えたことを書きましょう。</p> <p>C: 友だちと活動すると、自分の成長やよさがよく分かりました。次は家の人や1年生の時の先生にも聞いてみたいです。</p>	<p>○内面のよさに気付いている児童や、過去の自分と比較して考えている児童を紹介し、参考にできるようにする。</p> <p>○話型を示し、自分のいいところとカードの回りにメモしたこと(自分の気付き)を紹介し合えるようにする。</p> <p>○リフレクションシートへの記入時には、友だちからのカードをもらって考えた感想や、新しく気付いたこと、これからやりたいことについて振り返るようにする。</p>	<p>振り返りの評価【思・判・表】</p> <p>A: 自分で考えたことと友だちから聞いたことをつなぎ合わせて、前の自分と比べながら、自分の成長やよさについて話したり書いたりしている。</p> <p>B: 自分で考えたことと友だちから聞いたことをつなぎ合わせて、自分の成長やよさについて話したり書いたりしている。(発言・ワークシート)</p>
----------------------------	---	--	---

(4) 板書計画

⊗ カードを交かんして、自分の「すてき」をもっと見つけることができる。

A (+) 前の自分とくらべて考える。

B 自分と友だちからのカードをくらべて、せい長やよさを話す。

単元の流れ

- 1 カードをくらべる→わかる

同じ にている
はじめて知った
- 2 感じたことを書く

びっくり うれしい
- 3 もっと気付いたことを書く

たしかに〇〇ができる
前とくらべてかわった

今のわたし
カード

